

わたしたちが知りたかった市町村合併の『?』に答える!

# 市町村合併のココが聞きたい!

全6回にわたって市内で開催された市長との懇談会。

「合併でまちはどう変わるの?」「合併はこうあるべき!」

参加者から寄せられた市町村合併に関する数々の疑問や意見。その疑問や意見に答えるこのコーナー。

あなたが知りたかった合併のあれこれをココでチェック!

## 国の動向、強制合併について

**Q** 国は、市町村の自主性に任せべきなのでは?

**A** 国のやり方についての批判があります。

小規模自治体は、中心に吸収されるという危機感を持っています。

財政的にも今より厳しくなり、行うことのできる事務が窓口業務などに限定される方向で議論されているのは、まぎれもない事実です。

留萌管内でも昭和30年代のあいだに、小平町、羽幌町などで合併を行ってきた経過があります。

国は、平成17年3月までに合併をするよう進めています。が、焦らずじっくり検討していくべきだと考え

ています。(東部地区公民館にて)

**Q** 合併における国からの財政支援には期限があるのでは?

**A** 国は財政状況が厳しいことから、合併によって行財政の効率化を図ろうとしています。

もし、強制合併と行うことになれば、国からの合併優遇措置はなくなると思われます。(商工会議所にて)



## これからのまちづくりについて

**Q** 国は強制的に合併を進めてきているが、メリット・デメリットばかりではなく、新生留萌のスタートとして、知恵を出し合いあたらしいメリットを考え、我慢できることは我慢して、あたらしい生き方を考え、いいものを作っていくことが必要なのでは?

**A** まさにおっしゃる通りだと思います。今までやり方の違う市町村が一緒になるのですから、様々な問題やカベにぶつかることがあると思います。お互いがひとつになり、知恵を出し合って乗り越えなければなりません。

あたらしいやり方や知恵が出なければ、本当の意味での合併はありません。国は強制的に合併を進めてきているが、メリット・デメリットばかりではなく、新生留萌のスタートとして、知恵を出し合いあたらしいメリットを考え、我慢できることは我慢して、あたらしい生き方を考え、いいものを作っていくことが必要なのでは?

れば、本当の意味での合併はありません。国は強制的に合併を進めてきているが、メリット・デメリットばかりではなく、新生留萌のスタートとして、知恵を出し合いあたらしいメリットを考え、我慢できることは我慢して、あたらしい生き方を考え、いいものを作っていくことが必要なのでは?

**Q** 都市計画マスタープランを作成している最中だが、合併をすれば、もう一度つくり直すことになるのでは?

**A** 各市町には、それぞれの歴史やまちの特性などに基づいたまちづくりの計画があります。合併をしたからといって地域が変わるわけではありません。今後も個々の地域性を生かしたまちづくりを進める計画を作っていく必要があります。(商工会議所にて)

## メリット・デメリットについて

**Q** 合併によって留萌市民が受けるメリットとは?

**A** 合併をすることによって、福祉施策などの違いがあった場合、高いほうに合わせるのか、低いほうに合わせるのか。これによって、市民の受けるサービスが低下することも考えられます。(東部地区公民館にて)

**Q** 合併をした場合のメリット・デメリットは?

**A** 小規模自治体は財政的に厳しく、地域全体でどのように運営していくかが問題となっています。留萌だけではなく、地域全体で助け合い、協力していく気持ちをもたなければなりません。

たとえば、高齢者への入浴助成券、職員給与水準など、それぞれのまち



## 住民サービス水準について

**Q** 埼玉県の浦和市と大宮市の合併では、大学の授業料が上がった。留萌市の敬老祝金も毎年支給から節目での支給になった。入浴助成額も減っているが?

**A** 合併する市町村でサービスが違う場合は、それぞれが話し合ってから決めることが重要となります。これからは、限りある税金をどのように使うのかをさらに議論していかねばなりません。(東部地区公民館にて)



**Q** 介護保険料などは、このまま少子高齢化が進むとどうなるのか?

**A** 都会に比べ人口の割に施設の数が多いことから、小さい町村ほど保険料が高くなっています。今後も高齢者が増加し利用者が増えてくると、保険料はさらに高くなるでしょう。保険料を抑えるには、ある程度まちとしての規模がなければならぬのです。(商工会議所にて)

**Q** 留萌、増毛、小平それぞれ算定されている地方交付税が、合併後に減らされると市民の税負担が増えるのではないかと?

**A** 国の地方交付税総額は、3年続けて減っています。行政が今までのような仕事のやり方をしては、財政が持たなくなるのには目に見えています。

国の合併に対する考えは、合併をすることによって無駄な部分を、そぎ落とすこと。合併をすることによって少しでもムダをなくし、市民サービスのレベルを下げないようにすることも検討していかねばならないのです。

今までは、まちづくりの仕事は、全て市役所が行うべきだと思われている方が多いと思います。しかし、これからは必要なものだけにお金を使い、限られたお金を有効に使うため、必要なものを選ぶ時代なのです。

知恵を出し合い無駄なことをやめ、どのようなまちづくりを進めるかが大切なポイントとなるでしょう。(留萌市役所にて)